

出版社は米国の研究提案に対抗して結集する

Goldfarb, Jeffrey. Publishers mobilize against US research proposal.

Reuters Tue May 9, 2006 11:55 AM ET

<http://today.reuters.com/business/NewsArticle.aspx?type=businessIndustry&storyID=2006-05-09T155511Z_01_L09712523_RTRIDST_0_BUSINESSPROIND-MEDIA-RESEARCH-LAW-DC.XML>

ロンドン（ロイター発）：John Wiley や Reed Elsevier を含む科学・学術出版社は、出版 6 ヶ月以内に無料で研究を利用できるように出版社に要求する新たに提案された米国の立法に対する攻撃を開始した。

2 名の米国の立法者の提案は、税金で賄われた研究をもっと広くアクセスできるようにせよとの世界的圧力が高まる中で新境地を開いたもので、そこには出版社の事業モデルに対する潜在的な危険がある。

出版社は査読雑誌の出版と配布に何億ドルも集中して投資し、印刷体雑誌とオンライン雑誌の予約購読、そして場合によっては年間に何百ドルにも上る個々の論文の販売によって収益を上げる。

「雑誌論文を出版後すぐに政府のウェブサイトで無料で利用できるように義務化することは、これらの相当な投資を継続している出版社にとって強力な阻害要因となるだろう」と専門出版社の業界団体の議長 Brian Crawford は述べた。

標準的な論文利用の約 70%は出版後 6 ヶ月に発生すると Crawford は図書館員の独自調査と出版社内部の計算を引用して述べた。

彼は出版社が研究をもっと利用できるように自主的に手段を既に講じており、この立法に断固として反対していると述べた。彼らは、代りに本法案が研究の質や納税者の費用に及ぼす潜在的な効果を綿密に調査する独立研究を要請している。

個別の出版社は Crawford のグループ、米国出版社協会(AAP: Association of American Publishers)専門学術出版部会へのコメントを繰り返した。

年間に 170,000 論文を出版する科学技術研究分野の世界最大の出版社 Elsevier は 2005 年に 4 億 4 千 9 百万ポンドの営業利益を伴う、1 兆 4 千 4 百億円の収入を上げた。

自主的計画

先週[5 月 2 日], 共和党のテキサス州選出の上院議員 John Cornyn と民主党のコネティカット州選出の Joe Lieberman が提出した連邦政府研究パブリックアクセス法 2006 (FRPAA: The Federal Research Public Act of 2006) は年間の外部助成予算が 1 億ドル以上であるいかなる 11 の政府機関から助成を受けた研究は出版後 6 ヶ月以内に無料で利

用できることを要求する。

「私たちは納税者が代価を払っている科学的発見や進歩についての納税者にアクセスを与えるためにこの法案を起草した。」と **Lieberman** は述べた。

この提案が本年通過するかははっきりしなかった。立法者には 11 月の議会選挙のため、短縮された会期しか与えられなかった。

会員に **McGraw-Hill**, **Springer** および大学出版会を含む出版社団体は、一般公衆は図書館で雑誌を見つけることができるし、研究者のほぼ全員は大学あるいは企業を通じてアクセスする。

「少なくとも要求の 95%は適正に配置されている現行モデルによって満たされつつある」と **Crawford** は述べた。

Cornyn は、米国政府が基礎及び応用研究に 55 兆ドルを投資し、その大半は米国国立科学財団およびエネルギー省を含む立法が対象とする助成機関によって支出されたと述べた。

提案は米国国立衛生研究所 (**NIH: National Institute of Health**) が奨励したが、要求しなかった計画を実施してから 1 年後に出現した。**NIH** の被助成者は研究を 12 ヶ月以内に公的に利用できるようにする。4%未満しかそうしていなかった。

一つには必要なアウトリーチが欠けていたので **NIH** の計画の実施はだめになったと **Crawford** は述べた。

「義務的な方針を得るためにあたかも彼らは、遵守が限られていることを示すのを望んでいたかのようだ」と彼は述べ、**NIH** の計画が機能しているかどうかを確認するのがあまりにも早かったと付け加えた。

Cornyn は助成機関の自主的提案はしっかりした進歩だが、実施の必要性がさらにあると述べた。

AAP の法務・政府担当副会長 **Allan Adler** は、立法はまた、出版社による顧客の維持や独立した査読システムの代金の支払の方法を含む、提案の経済的影響について考慮していないと述べた。

公的助成を受けた研究に対するオープンアクセスの圧力はヨーロッパでも同様に増している。

本年初めの欧州委員会 (**EC: European Commission**) の報告書は、雑誌の講読が図書館や研究者の予算が圧迫によって減少している一方で 1975 年から 1995 年にかけての科学雑

誌の価格は物価上昇率を 300%も上昇したと述べた。

本報告者の著者は 2 大学の経済学者であるが、ヨーロッパの納税者によって助成され他研究は、インターネットを介して無料で利用できるようになることを勧告した。

(ワシントンの **Jeremy Pelofsky** による追加レポート)